



# WindowsXP “サポート終了” 間近!

## 団体のパソコンを Windows7 にしませんか?



ご存知の方も多いと思いますが、マイクロソフト社のOS、「WindowsXP」のサポートが来年の4月に終了します。これに伴い、パソコンの買い替えを検討される市民活動団体さんも多いはず。そんな市民活動団体さんに朗報です。毎年好評の「みえ イーパーツ リユースPC寄贈プログラム(※)」を今年も実施します。搭載されるOSは「Windows7」なのでサポートも安心。リユースPC寄贈プログラムへのご応募お待ちしております。

### ※みえ イーパーツ リユースPC寄贈プログラムとは…

企業から提供されたパソコンを「再生(リユース)」して、市民活動団体に無償(手数料のみ負担)で寄贈し、その情報化を支援するプログラム。三重県全域が対象。

### 寄贈 PC

ノート型、デスクトップ型【合計】50台程度(予定)

搭載 OS	Windows 7 Pro
アプリケーション	Office 2010 Home & Business ウイルスバスター クラウドを予定
パソコン	ノート型
	デスクトップ型
スペック	C P U : インテル Core 2 Duo 1.8GH メモリ : 2GB H D D : 80GB クラス程度
	C P U : Core 2 Duo 2.6GH クラス メモリ : 2GB H D D : 80GB クラス程度

※PCの送料及び、ライセンス代等、PC1台あたり6,000円の自己負担額があります。(メモリ増設を希望される場合の自己負担額 ノート型14,000円 デスクトップ型12,000円) ※キーボード、マウス、モニタなどの付属品はありません。申請団体でご用意ください。

主催：みえイーパーツリユースPC寄贈プログラム実行委員会  
協力：みえ県民交流センター指定管理者 特定非営利活動法人みえNPOネットワークセンター



### 募集期間

2013 2014  
12/1(日)~1/11(土)  
※当日消印有効

### 寄贈対象

三重県を拠点に、まちづくりや地域の活性化に寄与する市民活動団体で、財政面などの諸事情で情報化が進まない団体であること。  
※原則として、2014年2月15日(土)に開催する「寄贈式」に出席できること。

### 応募方法

「みえ イーパーツ リユースPC寄贈プログラム申請書」に必要事項をご記入、押印の上、お近くの市民活動支援センターに直接お持ち込みいただくか、郵送でお送りください。

## センターからのお知らせ

2013 2014  
◎ 年末年始休館 ▶ 12/30(月)~1/4(土)

※2013/12/28(土)は17時までで閉館し館内清掃など新年を迎えるための準備をさせていただきます。  
※2013/12/29と2014/1/5の「日曜日」は通常の休館日です。2014/1/6(月)から通常開館いたします。

松阪発信! 市民活動の情報紙 アロマ 次号は2014年2月中旬以降の発行予定です。募集・イベント・事業案内など、共有したい情報をお持ちの方は、「アロマ掲載希望」の件名で「タイトル・趣旨・内容・日時・場所・問合せ先」などをご記入の上、松阪市市民活動センターまでE-mail か FAX にて送付してください。次回の原稿締切は2014/1/31(金)です。 担当/澤

松阪市市民活動センター 〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 月曜~土曜日/10:00~22:00  
松阪駅下車(JR側)、徒歩5分 カリヨンプラザ駐車場あり(屋上) 会議室利用時間に限り無料 ラウンジ利用は2時間まで無料

TEL 0598-25-3801(予約専用) 0598-26-0108 FAX 0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

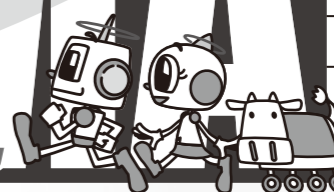
利用	会議室	大会議室……机10 椅子30 (600円)	機材等	印刷機(紙持込) / コピー機
		小会議室1…机4 椅子12 (150円)		マイク/プロジェクター 他
		小会議室2…机6 椅子18 (200円)		会議室・機材等はセンターに団体登録されることで利用可能です。
		小会議室3…机4 椅子12 (150円)		利用申込
	料金は1時間。大小会議室の組み合わせ可。外会議室……机8 椅子24 (400円)			申請書類は窓口でご記入いただくかお電話にて予約後、ご提出ください。

情報提供 ▼ 松阪市市民活動センターホームページ <http://www.katsudou.com>  
▼ 市民活動情報サイト(登録団体の情報、会議室の空き情報) <http://genki365.net/gnkm/customer/matsusaka/>



# AROMA

A Resident Of Matsusaka Activity



〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F  
開館 月曜~土曜日/10:00~22:00  
(予約専用)  
TEL 0598-25-3801  
0598-26-0108  
FAX 0598-25-3803  
E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

~アロマ~ No.50



今号は… 松阪手づくり甲冑愛好会 さんです

近年、紙や塩ビ版で作られる「手づくり甲冑(かっちゅう)」による「まちおこし」が、日本各地で行われている。愛知県の三河、岡崎、神奈川県の小田原など戦国武将ゆかりの地で愛好会などが発足し、地域のPRや歴史文化の伝承に一役買っている。戦国武将「蒲生氏郷」ゆかりの松阪でも、2010年から有志による「松阪手づくり甲冑愛好会」が発足、毎年11月に行われる「氏郷まつり」の武者行列などで活躍している。

氏郷まつり50周年の際「手づくり甲冑で地域を元気にしたい」というメンバーが集まり同会を設立。会員は「蒲生氏郷公顕彰会」や「氏郷まつり実行委員会」など氏郷公にまつわる活動を行う人が多い一方で、純粋に「ものづくり」が好きなのも増えてきている。活動の目的は、手づくり甲冑を通して松阪をPRすること。そのために、まずは市民に知ってもらおうと、毎年5~10月まで松阪駅前商店街(ベルタウン)で、誰でも参加できる「手づくり甲冑教室(毎週土曜日/午後13~16時)」を開講。約半年をかけて自分だけの手づくり甲冑を制作している。完成した甲冑は、お披露目の場として氏郷まつりの武者行列で実際に着て歩くことができる。「前の年に生徒だった人が、次の年には“先生”として教えることが多い。『作る喜び』と『着る喜び』、『伝える喜び』をすべて体感してもらえるんですよ」と会長の西岡敏男(にしおか・としお)さんは語る。



会長:西岡さん



氏郷まつりでの活動の様子

も駆けつけた。「手づくり甲冑を通して色々な人や地域と交流できるのが魅力」と西岡さん。特に海外の人には大人気だそうだ。

現在使用している既製の型紙は平安時代の甲冑がベースだが、甲冑は時代によって型が違う。「蒲生氏郷は戦国時代~安土桃山時代の武将なので、時代に忠実な“松阪オリジナル”の甲冑も作りたい」と、文献などを調べて新たな型紙づくりにも意欲を燃やしている西岡さん。毎日2時間費やしても約3カ月かかるという甲冑づくりもメンバー同士が助け合いながら制作している。同会は随時入会を受け付けている。また「手づくり甲冑教室」は、4月頃から松阪ケーブルテレビや新聞、市の広報誌などで募集の予定だ。来年の氏郷まつりには武者として松阪の街を練り歩いてみるのも面白いだろう。

【問】090-7045-7494 (西岡さん)



## 12月のNPO月間にNPOお気軽サロンを実施しました～



掲載写真は昨年実施したお気軽サロンの様子です。

12/19(木)、松阪プラザにて「NPOお気軽サロン」を開催しました。この取組みは、三重県とNPO法人みえNPOネットワークセンターが主催する「市民活動・NPO月間(※)」の一環として実施しました。地域を支え合う団体が気軽に交流できるサロン形式で開催し、日頃の活動報告や悩み事の相談、来年度の豊富など参加者の持ち寄ったテーマを話し合いました。時期的にも「忘年会」のような雰囲気やワイワイと盛り上がり、あっという間に時間が過ぎていきました。今後も当センターではNPOお気軽サロンを実施する考えです。今後の予定は当センターのホームページやFacebookページをチェックしてくださいね。

### 市民活動・NPO月間 記念イベント 協創シンポジウム開催

基調講演：寺島 実郎氏  
現代におけるNPOの意味—「新しい公共」への戦略的視点  
パネルディスカッション  
NPOがひらく協創の未来

とき 2014/1/11(土) 10:30~13:00  
(交流会 13:30~14:30)  
ところ アスト津4F アストホール  
参加費 500円  
定員 250名 ※事前申込必要  
申込先 みえ市民活動ボランティアセンター  
TEL: 059-222-5995  
Mail: center@mienpo.net

12月は市民活動NPO月間! NPO  
※「市民活動・NPO月間」とは…  
三重県では、NPO法の施行月である12月を「市民活動・NPO月間」と定めました。この期間中、県内各地の中間支援組織が主となり、市民活動の振興と寄付文化の醸成のために「市民活動・NPO月間協力企画」を実施しました。

## 見てください この賑わい!! 氏郷まつりでクイズとアンケート



松阪市市民活動センターのこと  
もっと知ってほしいクイズ  
参加無料  
モットモット

11/3(祝・日)、第52回氏郷まつりが開催され、当センターもブースを出店しました。今年のセンターブースは「松阪市市民活動センターのことをもっと知ってほしいクイズ」を実施。所在地や事業などを簡単なクイズ形式にしてPRしました。クイズの参加者には、松阪市に協賛いただいた「ちゃちゃも飴」や「ちゃちゃもシール」の他、防災・防犯に関する意識啓発のためのノベルティグッズを参加賞としてお持ち帰りいただきました。また、「コミュニケーションカUP」、「企画力UP」、「防災」などの講座または、それらをゲームで学べるなら参加したいですか?といったアンケートも実施。多くの方から「参加したい」というお答えをいただきました。このニーズを踏まえて今後の講座、ゲーム会などを企画したいと考えています。詳細が決定次第、当センターのホームページやブログ、メルマガなどでお知らせしますので、楽しみにお待ちください。

## 市民活動用語解説コーナー【Vol.8】 あのコトバ このコトバ

いまさら聞けない! 市民活動に関する「コトバ」をピックアップして解説していきます。今回のコトバは…

### ファシリテーター

ファシリテーターを直訳すると「促進者」となります。主に会議やミーティング、ワークショップなどにおいて、議論をスムーズに運び、「相互理解」、「合意形成」に向けて調整する役割の人を指します。この時、ファシリテーターは「中立な立場を保ちながら話し合いに介入する」ことがポイントです。また、誰もが参加しやすいよう会議の環境を創り上げる(会議をデザインする)のも大切な役割です。近頃は、企業や自治会などの会議に、外部からファシリテーターを呼ぶケースも増えてきています。活発な意見交換の場をコーディネートするには欠かせない存在と言えますね。

## 2013年度「TRI夢・街・人づくり助成金」助成団体が決定!



11/10(日)、「平成25年度 TRI夢・街・人づくり助成金」の第2次公開審査会が開催され、最終審査の結果、今年度の助成団体が決定しました。この日は、第1次書類審査を通過した3団体がプレゼンテーションを実施。見事、全ての団体が採択されました。また、今年度の公開審査会では、昨年度採択され実施された事業の中から、特に優秀な事業に対して送られる「奨励賞」の発表も行いました。奨励賞に輝いた「多気町まちづくり仕掛人塾 子ども未来応援委員会」には、奨励金として3万円が授与されました。代表の明石さんからは、「一年間の成果の評価をいただき、一同とても喜んでます。こうして認めてもらうことがこんなに嬉しいとは思いませんでした」と喜びのコメントもいただきました。東海ゴム工業(株)と当センターの協働事業である「TRI夢・街・人づくり助成金」は、この地域で頑張る市民活動を引き続き応援します。

### 今年度採択された団体【街・人づくり部門】

団体名	事業名
松阪まちなかまちづくりネットワーク	松阪まちなか音楽祭事業(褒めて褒められ音楽祭)
多気町まちづくり仕掛人塾 子ども未来応援委員会	子どもとまちの育ち合いプロジェクト事業
松阪ぎゅうと福祉メディア局	地域密着福祉情報誌発行事業

※今年度の【夢づくりスタート部門】に該当する審査対象団体はありませんでした。



### 奨励賞受賞団体【夢づくりスタート部門】

団体名	事業名
多気町まちづくり仕掛人塾 子ども未来応援委員会	子育て・子育て・自分育ちプロジェクト事業

※同団体は、昨年度この助成金で基盤を整え、更なるステップアップとして今年度も助成金申請され、見事採択となりました。

## 身近なCSRを探して vol.22 「CSRレポート」読んだことありますか?

アンケートの結果はコチラ

【その他の結果をアンケートから抜粋】  
Q: CSRレポートについて、どんな印象をもちましたか?  
企業の取り組みが分かって親近感が増した 28.5%  
企業の取り組みが分かって知識が増えた 25.7%

CSRレポートは市民にとって企業を知るきっかけになった。親近感・信頼感を得るきっかけになるんだね。

この地域に縁のある企業のCSR活動を紹介するこのコーナー。今回は少し趣向を変えて、各社が発行する「CSRレポート」について考えてみます。CSRレポートは、企業が「利害関係者(消費者や株主、従業員、地域など)」に向けて、自社の取組みを伝えるために発行しています。11/3(祝・日)の氏郷まつりで行われた「CSRレポート認知度調査」(実施団体：NPO法人Mブリッジ)によると「これまで見たことがなかった」と答えた人が72.9%と、松阪市民には、まだまだ認知度が低いようです。しかし調査時に、CSRレポートを実際に手に取られた方からは「企業の取り組みを知って親近感・信頼感が増した」という声が多く聞かれました。また今後、CSRレポートから知りたい内容については「製品やサービスの安心・安全」「消費者として参加できる地域交流やイベント活動」などが多く、市民が企業からの情報公開や、地域との交流をのぞんでいることが分かりました。ちなみに松阪市市民活動センターの「書籍の森」では200社以上のCSRレポートを閲覧することができます。来館されたときは、ぜひ手に取って見て下さいね。